

2020年 障害児教育の充実を求める

「神奈川県議会署名」と「教育全国署名」に

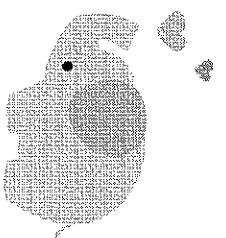
ご協力をお願いします。

今年も全国各地で、教育要求実現をめざす運動がくりひろげられています。神奈川県でも、「神奈川県議会署名（ゆきとどいた神奈川の障害児教育を求める陳情書）」と「教育全国署名（国の責任による35人以下学級の前進、教職員定数増、教育無償化、教育条件の改善を求める請願書）」の2つの署名にとりこんでいます。これらは、県立特別支援学校の教職員、保護者の方々や県内外の障害児・者団体とも力を合わせた運動としてすすめています。

障害児教育の充実のために、署名へのご協力を心よりお願いいたします。
署名用紙は11月末までにご返送お願いします。

ゆきとどいた障害児教育をすすめる神奈川県民の会
〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-1 農機会館402
TEL: 045(412)5161 FAX: 045(412)5162
HP: www.shinsyokkyoso.org

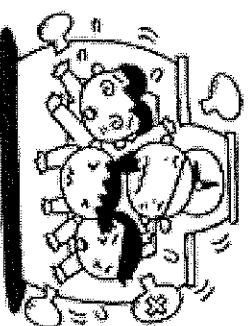
*署名用紙はホームページよりダウンロードできます。



◇ 特別支援学校は小学部から

高等部までパンク状態！

神奈川県の特設支援学校では、入学を希望する生徒が増加し続け、学校が過大規模過密化し、「教室不足」「トイレ不足」「廊下で体育」「クールダウンの場所がない」など、教育活動に支障が生じています。



◇ 1つの教室をパーテーションで仕切って授業をすることも！

◇ 高校に設置された分教室は専用スペースが5教室のみ！

隣の授業の声・音が筒抜けに！

◇ 障害者の権利保障のための

条件整備(公的支援)を！

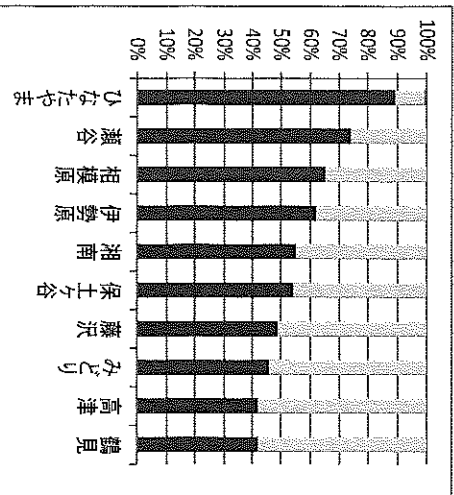
2016年の相模原の障害者殺傷事件を受けて策定された「ともに生きる社会かながわ憲章」で述べられている障害者の社会参加、共生社会の実現のために、公的支援による条件整備が必要です。



県立特別支援学校の校舎等面積は、平均で 国基準の約50%しかありません！

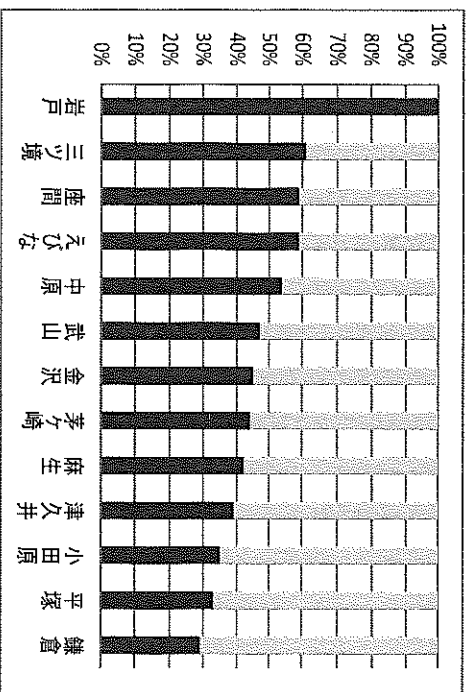
ほとんどの公立小
中学校は100%を
超えています。

知的単独校



実際の校舎等面積

知肢併置校



こんなに足りません！

「公立学校施設費国庫負担金等に関する関係法令等の運用細目」による2019年度児童生徒数に基づいた基準面積と、実際の校舎等面積との比較（ゆきとどいた障害児教育をすすめる神奈川県民の会試算）

●ある特別支援学校では、、、、

(A学校)	開校時の想定児童・生徒数	生徒数
・ 実際の児童・生徒数 (2019年度)	135人	252人

約2倍です！3密は避けられません！

想定を大幅に超える人数の子どもたちが詰め込まれているため
下記のような問題が生じています。

- 理科室が教室になり、理科室はなくなりました。理科の実験は行われなくなりました。
- 図書館が食堂になってしましました。
- 生活体験や家庭科室を普通教室として利用しているため、宿泊学習の入浴指導や布団を敷く指導などできなくなりました。
- 面談や生徒指導、別室指導をすると、部屋がなくなり、保健室を使う子どもと向き合うことや、子どもがいると、保健室も使えず、廊下の隅で下が狭くなったり、歩行訓練に支障をきたしたりしている。



こんなに子どもたちが多くいて、教室の数が足りなくなるのは当然ね。
こんな状態がもう20年も続いているなんておかしいわ。



廊下で体育をやったり、トイレが不足したりもしてるんだよ。
学校をふやして、早く当たり前の教育環境に戻してほしいわ。